

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2015-134052(P2015-134052A)

【公開日】平成27年7月27日(2015.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-047

【出願番号】特願2014-6421(P2014-6421)

【国際特許分類】

A 4 4 B 99/00 (2010.01)

【F I】

A 4 4 B 99/00 6 1 1 N

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月22日(2016.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

(外側直線部48,49)

外側直線部48,49は、雌部材30側の内側直線部38,39と同様に、図 1 及び図 1 3 に示すように、雌部材30の第 1 紐通し部33に挿通された紐類20の挿通方向に沿う、すなわち挿通方向と平行に延び、雌部材30側の対向面と対向する雄部材40側の対向面に設けられ、雌部材30側の内側直線部38,39と少なくとも線接触可能なものである。

外側直線部48,49は、雄部材40の外側面に位置し、六角形の対向する 2 辺を利用して一対形成している。外側直線部48,49は、図 1 2 及び図 1 6 に示すように、雌部材30の中空部32にはめ込まれた際に、その内側直線部38,39と面接触する。

なお、外側直線部48,49を対向させて一対形成していたが、これに限定されず、単数、或いは 3 個以上設けてもよい。また、外側直線部48,49を、雌部材30の内側直線部38,39と面接触させたが、少なくとも線接触可能なものであればよい。